

## Greeting Message ごあいさつ

小川 洋 福岡県知事  
Ogawa Hiroshi

第16回福岡デザインアワードを受賞された企業ならびにデザイナーの皆さま、心からお祝いを申し上げます。  
今年で16回目を迎えた「福岡デザインアワード」は、商品開発にデザインの力を生かす取り組みを広めるという趣旨が定着し、今回、過去最多の応募数となりました。  
年々、オリジナリティーにあふれ、質の高い優れた商品の応募が増えてきていることを大変うれしく思います。  
消費者ニーズが多様化している中、売れる商品をつくるためには、見た目の良さ、使いやすさ、安全性など商品本来の機能とデザインを一体として、商品の魅力を高めていくことが重要です。  
福岡県が、高度なものづくり企業とデザイン事務所が集積する地域であるという強みを生かし、企業とデザイナーの交流を促進するデザイン開発ワークショップの開催や小売店の協力による販路開拓支援など、福岡県産業デザイン協議会と連携した取り組みにより、県内企業のデザイン力の向上や付加価値の高い商品の開発を推進しています。  
今年度の「福岡デザインアワード」は、受賞商品45点をはじめ、地域素材や伝統の技を生かしながらも新たな着想を取り入れた、ものづくりが盛んな福岡らしい優れた商品が多く見られました。  
これらの商品が日本全国、そして世界にまで広がっていくことを期待するとともに、今後、多くの方に長く愛されるデザインの力を生かした商品の開発が進み、福岡から魅力的なヒット商品が数多く生まれることを願っています。

唐池 恒二 福岡県産業デザイン協議会 会長  
Karaike Koji

「福岡デザインアワード」は、デザインを身近な経営資源として活用していただくため、平成11年より実施しています。  
第16回となる今回は、過去最多の155社・団体から189件の応募をいただきました。  
高度な技術や新しい発想にデザインを加えて魅力的に仕上げたものが多数あり、改めて福岡のデザイン力の高さを認識するとともに、県内企業のものづくりにかける情熱や、商品開発におけるデザイン活用に対する機運が一層高まっていると感じました。  
2日間に亘り開催した応募商品展示会では、多くの来場者を迎え、大変盛況に実施することができました。  
ご尽力いただいた関係者の皆様に心より感謝申し上げます。  
「グッドデザイン イズ グッドビジネス」という言葉が示すとおり、素晴らしいデザインはビジネスの発展につながります。  
今回、受賞された企業、また、ご応募いただいた企業の皆様が、なお一層の商品改良や新商品の開発に取り組まれることを期待しています。  
福岡県産業デザイン協議会は、今後とも、企業における商品企画・開発力の一層の向上と、企業とデザイナーとの活発な交流を支援して参ります。  
引き続き、皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。



# Total Appreciate

第16回福岡デザインアワード・総評

第16回福岡デザインアワードは、「福岡産業デザイン賞」を「福岡デザインアワード」と改称した2年目となります。デザインは産業との関係で成り立つクリエイティブ活動の一つであり、その活動範囲は、ものづくりや場づくりなどのハードデザインから仕組みづくりなどのソフトデザインまで広がっています。今年度の応募件数は、過去最多(189件(155社))の応募をいただきました。

質の高い応募件数が増えたこともあって、審査委員は、昨年度からさらに2名増員(実務家7名、大学等関係8名、流通関係5名、計20名)しました。そしてゲスト審査委員には、機能とデザインを追求した空気清浄機の開発などで活躍されている古賀宣行氏を招聘しました。(P3参照)

審査は、これまで通り「商品の市場性」「地域産業への影響力」「デザインの獨創性・新規性・先導性」の選定基準と下記の6項目の審査の観点のいずれかにおいて優れたデザインを「福岡デザインアワード」に選定する方法で行いました。

○伝統技術を活かすなど、地域に貢献している。
○ビジネスの可能性を広げ、その波及効果が高い。
○技術面や機能面が優れている。
○地球環境にやさしい、生活福祉の向上につながる。
○新しいライフスタイルを提案している。
○パッケージ等ユーザーとのインターフェイスに優れている。

審査は、各応募内容の事前確認と書類審査の1次審査を行い、展示会場においての2次審査を行いました。2次審査は、非公開で全商品等の書類および実物、概要パネルなどによる審査委員投票による審査を行い、下記の7区分別に応募商品説明を受けながら審査委員からのコメントを含めた質疑応答による詳細な公開審査後、審査委員協議による賞の選考を行いました。公開審査は、生活環境、食品、繊維・日用品、家具・インテリア、産業・商業機器、情報・サービス、そして特別部門の7区分に分け、増員した審査委員が分担することで、企業別の詳細なヒアリングによる公開審査を行うことができました。

非公開審査の得票数と公開審査のヒアリング結果などに基づいて審査委員による協議を経て、「福岡デザインアワード」受賞候補45件を選出しました。そして、この45件の中から「ゲスト審査委員賞」1件、「特別部門賞」1件を、そして特に優れた商品等6件の「福岡デザインアワード優秀賞」、さらに全受賞の中で最も優れた商品の「福岡デザインアワード大賞」を決定しました。

第16回福岡デザインアワードは、今年度も魅力的でクオリティの高い応募商品が多く、受賞率が約24%(受賞数45件/応募総数189件)と、昨年を6ポイントも下回る厳しい審査となったため、惜しくも僅差で選外となった商品が多くありました。区分別の受賞数では、今年度も繊維・日用品が最多受賞の17件(内、大賞、優秀賞2件)、次いで食品の12件(内、優秀賞2件、ゲスト審査委員賞1件)、家具・インテリアは、7件(内、優秀賞1件)の受賞でした。生活環境と産業・商業機器は、それぞれ4件(内、産業・商業機器、優秀賞1件)の受賞となりました。

○応募数と受賞状況

	応募区分	応募数	受賞数
1	生活環境	15	4
2	食品	56	12
3	繊維・日用品	78	17
4	家具・インテリア	24	7
5	産業・商業機器	8	4
6	情報・サービス	1	0
7	特別部門	7	1
		189	45

今回も繊維・日用品と食品の区分は、応募数が増加とともにデザイン性も向上して、受賞件数が両区分で全体の6割以上を占め、その内、大賞と優秀賞4件が受賞するなど、今年度も福岡の人々が地域の資源を活かした創意工夫によって魅力的な商品に結びつけた優れた福岡デザインを代表する区分となりました。今回、受賞件数がやや少ない家具・インテリア、生活環境と産業・商業機器の区分ですが、応募件数に対する受賞率は高く、特に産業・商業機器は応募件数の半分が受賞するなど、安定した福岡デザインのオリジナリティの高さが特筆されます。また、「特別部門」は、永年にわたって継続してきた“福岡発信型”ものづくり活動「金属王プロジェクト(三松)」が受賞しました。

大賞は、八女杉を用いた手触り感が落ち着きを与え、筆記等作業時の姿勢安定を促す、独楽工房・隈本木工所の「ぐっ波斯」が選ばれました。「ぐっ波斯」は、福岡県工業技術センターインテリア研究所の技術およびデザイン支援によって製品化されたものです。筆記時などに作業をしていない側の手に、「ぐっ波斯」を持つことによって正しく机の上に手をおくことができます。「ぐっ波斯」は、商品開発の着想から人間工学を踏まえたデザイン検討、試作による検証実験など、一貫したデザインプロセスにより、地域材を用いた技術とデザインが結びついた福岡発の新たな商品に結実させたことが、審査委員一同で大賞に値すると高く評価されました。

繊維・日用品区分から優秀賞は、次の2件の受賞です。お箸を自分で削って自分で作るキット商品「pencils」(スナオラボ)は、鉛筆と箸の関係から生み出された着想の楽しさ、そしてその開発コンセプトを真っ正面から商品化したことが評価されました。天然由来の美容成分を高濃度配合した無添加石けん「しゃくなげ花酵母豆乳せっけん」(株式会社豆腐の盛田屋)は、無添加であっても汚れは落としながら潤いあるお肌となるなど、開発姿勢にこだわった製造過程とともに、素朴ながら手づくり感のある優れたパッケージデザインが評価されました。

食品区分での優秀賞2件は、お茶どころ九州7県から厳選したお茶により、お茶をもっと身近に、豊かな生活を提供する、伝統技術を活かしながらお茶を楽しむライフスタイルを優れたパッケージデザインにより提案した商品「八女特製冠茶&九州7県のお茶セット」(151E(イチゴイチエ)運営元:九州総合サービス株式会社、デザイン:株式会社DEELIGHTS)と、仕事や家事などに忙しく野菜が不足がちな人々へ、手軽においしい野菜を摂れる乾燥野菜のスープと調味料を、無添加や長期保存などの技術面の工夫とともに、その特長が伝わるパッケージデザイン、さらに地域雇用まで考慮した「乾燥野菜スープ ベジマグ。乾燥野菜調味料 ベジオ。」(P&Cプランニング株式会社、デザイン:有限会社シード)が受賞しました。

残り2点。まず家具・インテリア区分の優秀賞は、桐の箱の新しい使い方を模索し、桐箱の魅力を原点に、CI計画、マーケティング・販売促進まで踏まえたトータルデザインにより新しいライフスタイルを提案した「増田桐箱

店のKirihacoプロジェクト」(株式会社増田桐箱店、デザイン:トライシク)です。そして産業・商業機器区分からは、第13回に大賞を受賞した株式会社オーラテック(デザイン:白)の美容院等専用の「マイクロバブルシャワー“ビューアブルプロ”」が、すぐれた洗浄効果がありながら節水効果や潤いのある髪に仕上がり、使用者の手肌の保湿効果もある機能面と、その清楚で緻密さを感じる造形との融合デザインが評価され優秀賞を受賞しました。

ひとへのやさしさを、手に包まれる小さな“もの”に込めた、県産材を用いた技術とデザインが結びついた福岡発の新たな思いやりの商品が大賞を受賞し、また今年度も魅力的で獨創性の高い“福岡デザイン力”が優秀賞を含め多数選ばれるなど、デザイン活用が福岡の地域産業と生活文化を牽引する力となってきていることを実感しました。デザイン活用は、ユーザーの立場に立って、より良い生活イメージを機能と感性の融合によって商品や仕組みなどの具体的な“かたち”に可視化し、事業に結びつけることです。また、その可視化には、作り手の想いをユーザーに的確に投影することが重要です。惜しくも入賞に至らなかった企業も多くありましたが、それぞれ作り手のものづくりへの熱い想いが伝わる商品が多かったのが印象的です。今年度も、福岡から日本、そして世界へ発信できる“福岡デザイン力”による地域ブランド創出のために、多数の意欲的な応募を期待しております。

審査委員長 森田 昌嗣

九州大学大学院 芸術工学研究院 教授

# Judges

審査委員

○審査委員長  
森田 昌嗣

九州大学大学院 芸術工学研究院 教授  
デザインディレクター

○審査委員  
青木 幹太

九州産業大学 芸術学部デザイン学科 教授

石田 文明

公益社団法人 日本グラフィックデザイナー協会  
福岡地区代表幹事  
株式会社 デイライト 代表取締役

石村 一枝

株式会社石村萬盛堂  
専務取締役

岩崎 充子

株式会社 井筒屋  
本店販売促進部 宣伝担当課長

大倉 紀子

株式会社 ジャンスマリー  
代表取締役

大庭 香代子

学校法人九州呉学園  
日本デザイナー学院 校長

大歯 滋喜

九州大学産学官連携本部 アドバイザー  
同 産学連携センター 客員教授

尾方 義人

九州大学大学院 芸術工学研究院  
准教授

かねこしんぞう

株式会社 インデックスプラス  
代表取締役

清須美 匡洋

九州大学大学院 芸術工学研究院  
教授

神谷 昌秀

福岡県工業技術センター  
所長

重松 依子

株式会社 宣研  
代表取締役

田中 善哉

東神開発 株式会社  
営業本部 営業企画部  
MDグループ チーフ

津岡 卓央

株式会社 インキューブ西鉄  
取締役営業部長兼天神店 店長

中島 浩二

西日本工業大学 デザイン学部  
准教授

中村 俊介

株式会社 しくみデザイン  
代表取締役

松下 美紀

株式会社 松下美紀照明設計事務所  
代表取締役

矢倉 眞司

株式会社 ロフト  
天神ロフト 館長

米山 安浩

株式会社 東急ハンズ  
博多店統括マネージャー

○ゲスト審査委員  
古賀 宣行

株式会社 カドー  
代表取締役

# Award goods

受賞商品

○大賞  
ぐっ波斯/繊維・日用品

○優秀賞  
八女特製冠茶&九州7県のお茶セット/食品  
乾燥野菜スープ ベジマグ。乾燥野菜調味料 ベジオ。/食品  
pencils/繊維・日用品  
しゃくなげ花酵母豆乳せっけん/繊維・日用品  
増田桐箱店のkirihacoプロジェクト/家具・インテリア  
マイクロバブルシャワー「ビューアブルプロ」/産業・商業機器

○ゲスト審査委員賞  
「茶柱縁起茶」シリーズ/食品

○特別部門賞  
金属王プロジェクト/特別部門

○入賞  
Q-big/生活環境  
カラブロックキューブ/生活環境  
龍宮の遣い1000/生活環境  
kila clean/生活環境  
まろやかしょうゆ/食品  
手ちぎり海苔の浅炊き/食品  
八女和紅茶スパークリング/食品  
朝食産真空パック無洗米ギフトシリーズ/食品  
福招くしょうゆセット/食品  
ウメ山ウメ子/食品  
プレミアムうきはの山茶 GFT5-2/食品  
八女茶 許斐久吉六代目シリーズ/食品  
ブランディング/食品  
TUGUの商品群/繊維・日用品  
㊤綿入れはんでん 夜空/繊維・日用品  
ペーキュービカ!/繊維・日用品  
木匠/繊維・日用品  
お骨董 ボーンボット 桜・百合/繊維・日用品  
HJ accessory by 博多織/繊維・日用品  
KONOITO/繊維・日用品  
HAKATA WAPPA/繊維・日用品  
ritorna/繊維・日用品  
clippe/繊維・日用品  
spalmito/繊維・日用品  
カフェボウル カフェまる 〜日本のひつじシリーズ/繊維・日用品  
使い捨てないアイスブーン/繊維・日用品  
守〜七変化/繊維・日用品  
ミラクルデザインブーケ\*福岡市カワイイ区とのコラボモデル/家具・インテリア  
Pet Plus(ペットプラス)/家具・インテリア  
風〜Foo〜/家具・インテリア  
drops/家具・インテリア  
畳むんデス/家具・インテリア  
me-mori roll/家具・インテリア  
真空管ハイブリッドアンプ「old mini」/産業・商業機器  
LEDORNA「COUNT 24H」/産業・商業機器  
Earscooter/産業・商業機器

# Grand Prize



## 01 繊維・日用品

### ぐっ波斯

C/ 独楽工房 隈本木工所  
D/ 福岡県工業技術センター インテリア研究所  
ICHIMARU DESIGN (パッケージデザイン)

ひとへのやさしさを、手に包まれる小さな“もの”に込めた、県産材を用いた技術とデザインが結びついた福岡発の新たな思いやり商品「ぐっ波斯」が大賞を受賞しました。「ぐっ波斯」は、筆記姿勢を良くする教習具です。上半身をしっかり支える体力を得ていない児童の筆記時や、仕事での片手で行う単純な作業時、またお年寄りの食事の際に、姿勢安定による疲労軽減を促すことができる商品です。筆記時など、作業をしていない側の手は置き場が定まりません。そこで「ぐっ波斯」を持つことで、その手を正しく机の上に置くことができます。特に、手から肘までの前腕部をべったり机の上にのせて、机に身体を預け、前屈みになるなどの姿勢の悪い児童の姿勢改善に役立ちます。そして、筆記姿勢が良くなると学習の集中力にもつながります。開発の過程では、人間工学の知見を活かし、小学生たちを被験者に「ぐっ波斯」の使用前と使用後の筆記姿勢の動作解析等を実施し、使用後には上半身が起立した良い姿勢になったことなどの検証も

行われています。「ぐっ波斯」は、地域材である八女杉を用いた手触りが心の落ち着きを与えています。また、手の置きやすさを追求するために、粘土を用いて手で握る形を造形し、3Dスキャンしたデータを用いて木材を切削加工することで、手にフィットする形状を創りだしています。この加工には、新たな木工旋盤(3Dターニングマシン)を導入することで、これまでの八女特産のコマや皿など対称形状を加工する木工旋盤ではできなかった、手に包み込みやすい「ぐっ波斯」には欠かせない非対称形状の実現に結びつけています。「ぐっ波斯」は、商品開発の着想から人間工学を踏まえたデザイン検討、試作検討、被験者による検証実験に至るデザインプロセスにより、地域材を用いた技術とデザインが結びついた福岡発の新たな商品に結実させたことが、審査委員一同で大賞に値すると高く評価されました。



C/Company:企業 D/Design:外部のデザイナー、デザイン企業を表しています。



## Excellent Prize 優秀賞



### 02 食品

#### 八女特製冠茶 &九州7県のお茶セット

C/151E(イチゴイチエ) 運営元:九州総合サービス 株式会社  
D/株式会社 DEELIGHTS

千利休の茶道の筆頭の心得である「一瞬を大切に思い、今出来る最高のおもてなしを」という意味の“一期一会”を、“151E”と記号化し、言葉や人種を超えてお茶に興味を持って頂きたいという思いが込められている。柔らかな白をベースとしながら九州7県の各県鳥をモチーフに、トータルでイメージカラーを構成。近年若年層に受け入れられにくい日本茶を、新しい感覚で総合的にブランド化することで、現代の生活スタイルに溶け込みやすく、優しさを感じさせるために、幅広い年齢層で身近に感じさせている。今までの日本茶には無いシンプルかつ斬新なパッケージとお茶にまつわるハイセンスな商品セレクトで新しい日本茶の世界感を再構築している。(講評/石村 一枝)

## Excellent Prize 優秀賞



### 03 食品

#### 乾燥野菜スープ ベジマグ。 乾燥野菜調味料 ベジオ。

C/P&Cプランニング 株式会社  
D/有限会社 シード 東 妙子

野菜スープは口に含むと、すーっと抵抗無く身体に溶け込む優しい味である。「ベジマグ。」「ベジオ。」共に原材料には九州産の7種類の乾燥野菜を用い、化学調味料無添加で野菜そのものの味を美味しく安全に楽しめる逸品である。忙しく生活する人の野菜不足を補う目的で開発された商品であるが、病気の方へのお見舞いや高齢者にも対応している商品として、ギフト用のパッケージも用意され広い販路が期待される。加工製造は福祉作業所で行い、障がい者の雇用にも貢献している。パッケージはナチュラルなデザインで、若い人も思わず手に取りたくなる魅力がある。スープは包装に湿気に強い配慮がなされているのも嬉しい。(講評/大庭 香代子)

## Excellent Prize 優秀賞



### 04 繊維・日用品

#### pencils

C/スナオラボ

鹿児島県の孟宗竹を使用し、当地の竹加工技術を活用した外観は、まさに鉛筆である。鉛筆の先を削ってオリジナルのお箸が作れるキット商品であり、メインターゲットを30代後半の家族とし、親子で工作するほのぼのとしたシーンを想像させる。このお箸を使うことで、正しい鉛筆の持ち方に繋げようという考え方にも共感できる。昨年入賞の「きのこつわ」は利用者の声を聞いて改良するなど、丁寧なもののづくりへの思いが感じられる。(講評/青木 幹太)

## Excellent Prize 優秀賞



### 05 繊維・日用品

#### しゃくなげ花酵母豆乳せつけん

C/株式会社 豆腐の盛田屋

このパッケージを見た瞬間、「何?」「かわいい」など、手に取ってみたいと思った人が大半ではないだろうか?実は、「豆腐を作っている人の肌がきれい」なことに気づいた豆腐屋さんが作った無添加石鹸である。成分に入っている「しゃくなげの花の形をした豆腐」がコンセプトで豆腐屋の豆乳がベースとなりしゃくなげの花から抽出した酵母エキスが配合されている。しかも、全国で10件ほどのみで受け継がれている「釜炊き棒練り製法」を採用。一般の機械練り製法より成分を高濃度で配合でき溶けにくい石鹸ができるとのこと。幾つもの隠されたストーリーを「デザイン」という一瞬のインパクトで世間にアピールした実に素晴らしい商品である。(講評/津岡 卓央)